

議事録

日 時	令和5年1月13日（金） 10:00～12:00	
場 所	河内長野市役所 3階 301会議室	
議 題	第8回河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	10名(内2名 web にて出席)
	事務局（河内長野市政策企画課、 （株）ユーデーコンサルタンツ他）	7名
資料等	第7回推進委員会議事録 【資料1】 プロポーザルに関する質問への回答（令和4年12月27時点） 【資料2】 配置・断面図 【資料3】 （仮称）南花台パーククルー構想イメージ	
議 事	1. 開会 2. 案件 （1）公募状況について ・公募状況説明 令和4年12月27日質疑回答 令和5年1月10日参加資格書類関係受領 令和5年1月13日参加資格審査結果通知予定（現在参加資格確認中） ・質疑回答内容説明 令和4年12月27日の質疑回答内容について説明【資料1】 （2）基本計画書（案）について 基本計画書（案）に添付の配置図、断面図について第7回推進委員会での意見を反映した内容を説明【資料2】 修正箇所は以下の通り。 ・Bゾーンについて広場の地盤レベル及び、西側園路の地盤レベル設定を修正。 1号線から東側園路に向かって緩やかにあがる地盤レベル設定とする。 ・6-6断面図の断面位置を北側に移動し、本事業外のCゾーン（子ども園部分）の断面が入るように修正。 （3）（仮称）南花台パーククルー構想について （仮称）南花台パーククルー構想イメージについて説明【資料3】 ・パーククルー構想について 公園づくりを通じ、新たなコミュニティを育み、そのコミュニティが生み出す多様な活動により公園の魅力を高める構想をイメージしている。子供から高齢者まで、多世代が一緒になって継続的に公園を盛り上げ、魅力を高めていく仕組みを構築したい。 ・パーククルーの活動は、着工前の段階から行いたいと考えている。 ・パーククルーのメンバーを資料3で想定しているが、継続的に活動が続けられる組織作りを検討していきたい。 ・基本的な管理運営の方針は、スタジアム部分を含めたA・Bゾーンにて一体的に	

指定管理を委託することが効果的かつ効率的であるため、スタジアムの指定管理者となるスベランツァ大阪が主体となれるか調整を行う予定。

以下、推進委員会意見を記載

- ・管理運営の方針を立てるためには、だれが主導して管理運営を行うか、コアメンバーをどのように構成するか整理が必要。

例：行政主導型 泉佐野丘陵緑地

民間主導型 南池袋公園、HELLO GARDEN、安満遺跡公園、大蓮公園

市民主導型 キセラ川西せせらぎ公園

- ・コアメンバーについて

パーククルー構想の実現のためには、関わる多種のクルーを下支えする中心的な組織（コアメンバー）が必要と考える。

コアメンバーの居場所（窓口となるよう公園内、または周辺での常駐配置）が必要。

また、その際には、現在住民活動の窓口的な役割となっているコノミヤテラスとの役割分担が必要。

コアメンバーはジェンダーバランスに配慮した構成とすることが必要。

- ・様々な分野のメンバーがパーククルーとして想定されているため、パーククルーは主導するコアメンバーに対して企画提案を行うという役割が良いのでは。
- ・現時点では市は委託者としての立場であるため、パーククルーのメンバーの想定に入っていないが、今後の調整状況を見ながら公園との関わり方等検討を進める。
- ・公園内での自己循環を生み出す制度設計が必要

例：大蓮公園

（使用料を一般財源に入れずに、公園整備に関する予算を基金として確保）

南池袋公園

（テナントの売り上げの一部を地域還元費とし、よくする会の活動資金に還元し、公園を盛り上げるような事業に循環する。）

- ・賑わい施設は施設管理につながる収益を期待している。管理運営、公募方法については検討中。
- ・西東京で、メインとなる公園とその他の小規模公園全体で指定管理を行う事例もある。南花台の場合も、今回計画するメインとなる公園とその他の既存公園を一体で管理することで、より良い運用ができる可能性も考えられる。
- ・市商店連合会等、市全体の意見を取り入れることができる団体も一緒に活動することで活用方法に幅が広がるのでは。
- ・河内長野市や南花台地区だけの内輪の公園とせず、市外からの利用が見込め、地域の交流人口を増やす公園となるよう計画する必要がある。

3. 閉会

以上